

市民活動団体

応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報情報課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

4月1日号への掲載の申込みは、2月24日(木)までに、広報情報課

✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719



▲市民活動団体応援コーナー詳細

文化

講演 初心者入門講座

☎2月9日(水)、16日(水)午後1時 場サンウェルぬまづ3階・可動間仕切室(沼津市日の出町1・15) ☎講談の基本から修羅場まで 無料 ☎筆記用具 ☎各日前日までに古城流会 ☎963・2877

第70回 新春書道展

☎①2月11日(金・祝)午後1時30分～5時
②2月12日(土)午前10時～午後5時
③2月13日(日)午前10時～午後4時 場生涯学習センター3階・市民ギャラリー ☎中学生以下は書き初め、高校生・一般の人は自由課題を展示。市長賞ほか7賞を授与 ☎書道展事務局・久保田 ☎975・3195

佐野美術館 友の会作品展

☎①2月15日(火)～20日(日)②23日(水・祝)～27日(日)午前10時～午後5時(15、23日は午後1時30分から、20日は午前11時まで、27日は午後3時30分まで) 場生涯学習センター3階・市民ギャラリー ☎①墨絵②日本画、洋画、陶芸 ☎佐野美術館友の会・中島 ☎975・0129

アニバーサリーコンサート

みどりの音手紙 Vol.3

☎3月6日(日)▶開場：午後4時30分▶開演：午後5時30分 場市民文化会館大ホール ☎市内在住の音楽家『たなかみどり』とバンドによるコンサート ☎一般：3,000円、4歳～中学生：1,000円※全席指定。やまがた楽器店、市民文化会館でチケット販売 ☎みどり音楽工房 ☎FAX 988・4140

三嶋曆の会 市民講座

「江戸時代の箱根西坂・三島宿」

☎2月19日(土)午後1時30分～3時 場市民活動センター第1、2会議室 ☎江戸時代の道中絵図から見た箱根西坂・三島宿を解説 ☎300円(テキスト代) ☎先着30人 ☎三嶋曆師の館 ☎FAX 976・3088

第1回 門崎菁華かな書道教室社中展 ～百人一首に魅せられて～

☎3月10日(木)～15日(火)午前10時～午後6時(最終日は午後5時まで) 場三島プラザホテル・ギャラリープラザ(本町14・31) ☎百人一首に特化した二十点余りの作品を展示。扇面作品をちりばめた屏風が見どころ ☎麻生 ☎973・1276

スポーツ・健康

生涯つきあえる武道、杖道！

☎毎週土曜日午前9時～正午 場西小学校、市民体育館 ☎杖道は杖と木刀による形稽古を行う古武道です。性別や年齢に適した稽古ができます。杖道を生涯武道とし、健康長寿を目指しませんか ☎▶中学生以下：月300円▶高校生：月500円▶大人：月1,000円 ☎山形 ☎972・5670

三島市五十雀山歩会 新会員募集

☎毎月1回(原則月末日曜日)午前7時～午後5時 ☎静岡・山梨・神奈川の野山を3～5時間歩き景観を楽しみ草花を愛でる。初・中・上級のコースがあり選択して参加可能。年1回宿泊の特別山行あり ☎▶年会費：2,000円▶参加費実費：3,500円 ☎成年男女 ☎大村 ☎981・4766

その他

がんの学校

☎2月13日(日)午後1時30分 場生涯学習センター5階第2研修室 ☎がんを克服・2つの秘策 ☎500円(テキスト代) ☎がん患者 ☎10人 ☎浅井 ☎090・1237・0011

求職者職業訓練「医療事務スタッフ 養成科(短期・短時間)」受講生募集

☎3月14日(月)～5月13日(金)午前9時30分～午後3時 場ニチイ学館沼津校(沼津市大手町3・8・23) ☎医療事務および調剤薬局における基本作業を学ぶ ☎教科書代実費 ☎ハローワークで積極的に求職活動をしている失業中の ☎14人 ☎2月16日(火)までに住所管轄のハローワーク ☎ニチイ学館沼津校 ☎954・1501

ボーイスカウト三島第5回 スカウト(男女)募集中！

青少年が「将来自立できる社会人」になることを目指す楽しい教育活動です。専門の研修を受けたボランティアが指導。見学・体験参加も随時受付 ☎週末月2階程度 場東本町まどろみ公園 ☎5～25歳までの男女 ☎鈴木 ☎090・7439・2325 ☎info@bsm5.org

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

歴史の小箱

小松宮彰仁親王と仁和寺

No.404

郷土資料館では、1月15日(出)より企画展「仁和寺と三島一宮様が結んだ縁」を開催！(～3月27日(日))

郷土資料館 (楽寿園内) ☎ 971-8228

今回は、郷土資料館企画展「仁和寺と三島一宮様が結んだ縁」の開催にちなみ、小浜池周辺に別邸(現市立公園楽寿園)を築いた明治時代の皇族小松宮彰仁親王が、仁和寺門跡(住職)に就任した経緯について紹介します。

京都市右京区にある真言宗御室派総本山仁和寺は、ユネスコの世界文化遺産に登録され、桜の名所としても知られる古刹です。三島市民から「宮さん」の名で親しまれた彰仁親王は、青少年期、この仁和寺で僧侶として暮らしていました。

仁和寺は、平安時代の仁和二年(八八六)、光孝天皇の願により建立が計画された寺院です。光孝は翌三年に崩御してしまつたため、造営は皇位を継いだ宇多天皇により進められ、同四年に完成に至りました。

宇多は讓位後に出家し、「法皇」(出家した上皇)となつて仁和寺に居住します。この宇

多を第一世(最初の住職)とし、以降、天皇の皇子や皇孫など、皇統に連なる人々により門跡が継承されていきました。

さて彰仁親王は、江戸時代の弘化三年(一八四六)一月、伏見宮家の王子として誕生しました。同五年一月、前年末に亡くなつた仁和寺第二十九世門跡濟仁法親王の跡を受け、満二歳にして門跡を継ぐことが決まります。

その後、仁和寺門前の御殿で養育され、満十二歳のときに天皇から「嘉彰」の名を賜わり、親王号を名づけることが許されました。それから約半年後、仁和寺に入り、出家を果たします。「法親王」(出家した親王)となり、法号を「純仁」として、僧侶としての生活を開始しました。

門跡としての知識・作法の習得、修行に励みながら青少年期を過ごした純仁法親王ですが、慶応三年(一八六七)十二月、二十二歳のときに王政復古の大号令が発せられ、その生活に終止符が打たれます。純仁に対し、新政府が設置した官職「議定」に就くこと、名を嘉彰に戻すこと、つまりは俗人に戻るよう命

が下り、以降、皇族の一人として軍事・外交の場面を中心に、多くの事績を残すこととなります。嘉彰親王が、名を「彰仁」、宮号を「小松宮」に改めたのは、維新の混乱が落ち着いた後の明治十五年(一八八二)のことです。小松宮の宮号は、青少年期を過ごした仁和寺の立地する地名(字名)にちなんで付けられました。

現楽寿園の地に別邸の建造を思い立った時期は明治二十三年頃といわれており、遅くとも同二十五年中には完成に至つたようです。建物には京風の建築様式が用いられ、彰仁親王が生涯を通じて仁和寺で過ごした日々を大切にしていたことが想像されます。



小松宮彰仁親王御法体肖像
総本山仁和寺蔵

わたしのおばあちゃん

当番 あだち ゆきのさん

私のおばあちゃんはいつも優しいです。毎朝必ず学校に行く私を笑顔で見送ってくれます。今もお店で楽しそうに接客をしています。真珠のネックレスの糸交換もできて、びっくりします。私が小さい頃には人形の洋服を作ってくれて、今でも大切にしています。料理も得意で、特に天ぷらやかきあげはとてもサクサクで家族全員の大好物です。おばあちゃん山ほど作ってくれますがすぐに無くなってしまうんです。大好きなおばあちゃんに、いつもでも元気でいてほしいと思います。



小坂 照子 (77才)
安達有紀乃(西小6年)